

補生の先輩たち!



PROFILE

航空自衛隊
中部航空警戒管制団
空士長

浅尾 俊介

自分を信じて頑張れば
夢が叶います

私は、東日本大震災での隊員の活動する姿に感動し、入隊を決めました。現在は基地内外の建築物の修繕・保持が主要任務です。実は入隊前は体力に自信がなかったのですが、努力することで自衛官になる夢が叶いました。また、入隊後、訓練などで体力を向上させることができました。皆さんも自分を信じて努力すれば大丈夫です。自衛官になる夢を応援しています。



PROFILE

海上自衛隊
護衛艦あまぎり
海士長

薬師寺 克則

一生の仕事にしたいなら
一般曹候補生

私が一般曹候補生を選択したのは、定年まで勤務でき、「海曹」へ昇任する近道という点に魅力を感じたためです。自衛官は国や国民を守るやりがいのある職業だと思います。一生の職業として勤務を希望する方には、是非一般曹候補生をおすすめします。

※階級・所属は撮影当時のものです。

自衛官募集(一般曹候補生)ホームページ

インターネットからも応募できます
詳しくは自衛官募集ホームページへ



自衛官募集X(旧ツイッター)



防衛省関係ホームページ

- 防衛省 <https://www.mod.go.jp/>
- 陸上自衛隊 <https://www.mod.go.jp/gsd/>
- 海上自衛隊 <https://www.mod.go.jp/msdf/>
- 航空自衛隊 <https://www.mod.go.jp/asdf/>

もっと詳しく知りたい、疑問や不安を解決したい...など
興味を持ったらずは**お近くの地方協力本部へ!**

自衛隊地方協力本部(地本)とは? ちほん 地方協力本部ホームページ
自衛隊に関する受験、見学、質問、相談等の窓口です。現役自衛官がお話を伺います。全国各地にありますので、是非お近くの地本へお気軽にお問い合わせください!



●お問い合わせは下記の自衛隊地方協力本部へ



平和を、仕事にする。
陸海空自衛官募集

自衛隊 一般曹候補生 採用案内

18歳以上33歳未満



「平和を創る仕事」を一生のやりがいに。

一般曹候補生

3つの
ポイント

POINT 01

一般曹候補生とは
将来部隊において各職種・
職域のスペシャリスト
となる要員

18歳以上33歳未満の方を
対象に、陸上・海上・航空各
自衛隊の部隊の中核で活
躍する曹たる隊員になるた
めの制度です。

POINT 02

定年まで活躍する
非任期制自衛官

一般曹候補生は2~3年で任
期を更新する自衛官候補生
とは異なり、自分の能力や志
向に合わせて知識と技術を
高めながら、定年まで自衛官
として勤めることができます。

POINT 03

特別職国家公務員※
としての身分

安定した処遇と各種手当の
ほか、制服・作業服・食事など
も支給または貸与されます。

※特別職国家公務員とは
国家公務員法によらず、別途、自
衛隊法や国会職員法等により任
用が定められている国家公務員
です。(警察官や消防官は該当し
ません。)

一般曹候

PROFILE

陸上自衛隊
輸送学校
3等陸曹

遠藤 樹生

自己の成長を
感じられる仕事

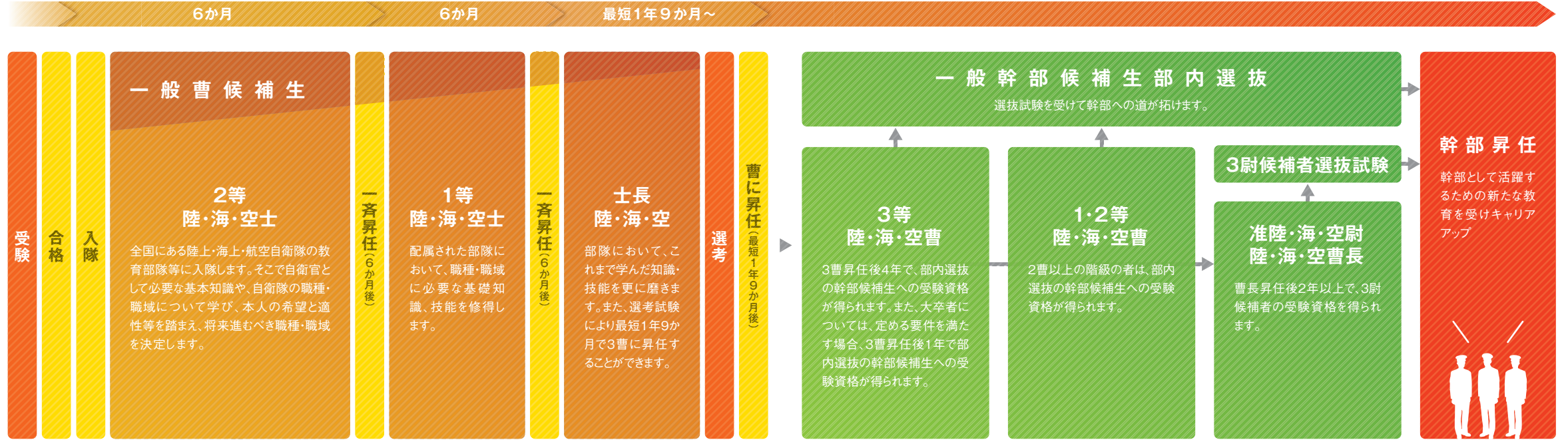
私は、装輪操縦手(自衛隊車両の
運転手)として、補給品や人員の輸
送任務に従事しつつ、様々な輸
送任務に対応できるように訓練に励ん
でいます。自衛隊は努力することで
直接評価につながり、やりがいや達
成感を感じられる仕事です。日々努
力を積み重ねる中で、自分自身の成
長を感じます。



詳しくはこちらへ▶

一般曹候補生の キャリアステップ

一般曹候補生は応募資格年齢が18歳以上33歳未満。高校新卒者から社会人経験者まで、多様な経歴を持った人材が入隊します。教育・育成カリキュラムが陸海空自衛隊ごとに整備されており、自衛官の基礎知識はもちろん、専門的な技能まで身につけることができます。また、明確なキャリアシステムにより、幹部への道も拓けています。



自衛隊の主な職種・職域

自衛隊には、さまざまな職種・職域があります。国防の第一線に立つだけでなく、事務作業や隊員のサポートを行うなど、個人の適性に応じて選択することができます。



待遇・福利厚生

隊員が安心して勤務できるよう、さまざまな福利厚生や各種手当を完備。特別職国家公務員としての待遇が整っています。

POINT 1

給与サポート

自衛官という勤務の特殊性を考慮した給与や、さまざまな手当を完備しています。

- 初任給 198,800円(高卒) ※初任給は、学歴・職歴等により異なります。209,500円(大卒) ※大卒者の初任給は、複数年かけて217,000円まで引き上げられる予定です。
- 昇給 期末・勤労手当(6月・12月)、扶養手当、通勤手当、単身赴任手当、住居手当、地域手当、航海手当、乗組手当、航空作業手当、航空手当、災害派遣手当など
- その他諸手当
- 勤務地 各都道府県の駐屯地又は基地など
- 勤務時間 8:15～17:00(地域差あり)
- 休日・休暇 週休2日制、祝休日、年末年始休暇、夏期休暇、年次有給休暇(年間24日)など
- 保険 団体生命保険、団体医療保険、団体傷害保険、団体年金保険、火災・災害共済、生命・医療共済

POINT 2

衣・食・住の手厚いサポート

自衛隊では制服等の支給・貸与、営舎内居住の隊員に対する食事の支給を行うため、出費を最小限に抑えることが可能です。隊員の生活サポートを全面的に行います。

取得機会のある多彩な資格

- 車両関係** 自動車整備士(1～3級) / 大型自動車運転免許(1種)(自衛隊以外の大型自動車運転には限定解除が必要) / 大型特殊運転免許 / けん引免許
- 船舶関係** 小型船舶操縦士 / 潜水士
- 航空関係** 航空管制官 / 航空無線通信士
- 医療関係** 救急救命士 / 准看護師 / 臨床検査技師 / 診療放射線技師
- その他** 危険物取扱者(乙種第4種) / 公害防止管理者(第1～4種) / ガス溶接(アーク溶接)技能者・2級ボイラー技士 電気工事士 / パソコン検定(3・4級) / 英語検定(2・3・4級) / ワークプロ検定(3・4級) / 情報処理(1・2級) / 調理師免許 / 栄養士

定年退職後のキャリアサポートも充実
再就職に有利な資格を取得するための職業訓練や(一財)自衛隊援護協会による職業紹介など、退職前からその後のキャリアをしっかりサポートしていきます。

一般曹候補生になるには

筆記試験や適性検査が行われます。受験にあたっては、志願票を最寄の地方協力本部へ提出又はインターネット応募サイト(自衛官募集ホームページ)での申し込み、いずれかの方法で受験手続を行ってください。

- **応募資格** 日本国籍を有する18歳以上33歳未満の者
- **試験科目** 1次 筆記試験及び適性検査
2次 口述試験及び身体検査
- **試験会場** 各都道府県に所在する自衛隊地方協力本部ごとに、1か所以上の試験会場を設置

※ 採用試験に関する詳しいことは、採用要項又は自衛官募集ホームページをご確認ください。

自衛官募集ホームページ

<https://www.mod.go.jp/gsdj/jieikanbosyu/>